

市議会9月定例会 市長所信



市議会令和8年9月定例会が、9月1日から9月30日までの30日間の日程で開催されました。開会日に、当面する市政の重要課題について、岩佐市長が所信を表明しました。抜粋して要旨部分のみを掲載します。

「災害に強く安全・安心な阿南」の創生

本年3月、市民待望の阿南インターチェンジ開通を経て、徳島南部自動車道・阿南安芸自動車道の早期全線開通へさらに機運を高めるべく、来る11月28日に情報文化センターにおいて、民間の方々が主体となつて「みなみ阿波『想いを継ぐみち』シンポジウム2026」を開催いたします。

本シンポジウムは、県南における道路の役割や重要性について、地域の皆さまと共に考え、次の世代へ想いをつないでいくことを目的として実施するものであります。

今回は、令和6年の能登半島地震や奥能登豪雨で甚大な被害を受けた石川県輪島市から坂口市長さまをお招きし「能登半島地震・奥能登豪雨における輪島市の対応と復興」と題してご講演いただきます。

被災地の生きた教訓を市民の皆さまと共有し「命のみち」、「活力のみち」の重要性について、共に考える絶好の機会でありますので、多くの皆さまのご参加を願っております。

「地域産業が伸びゆく阿南」の創生

本市では、地域に根ざした中小企業の皆さまの成長を力強く後押しする「エコノミックガーデニング阿南」を企業支援の中核に据え、取組を本格化させております。

そのキックオフイベントとして、去る6月24日、阿南市商工業振興センターにおきまして「若者に選ばれる企業づくり」をテーマにセミナーを開催いたしました。

当日は約80人の意欲ある事業者の皆さまにご参加いただき、今後の本市における人材確保と企業成長に向けた大きな一歩を踏み出すことができたものと考えております。

セミナーでは、徳島経済研究所の里正彦専務理事、徳島労働局の中西彩子さまにご講演をいただき、人口減少や雇用情勢などの統計から、私たちが直面する地域の現状と課題を深く認識いたしました。

また、私からも事業者皆さまの積極的な取組を後押しすべく「阿南市中小企業等振興支援補助金」をは

じめとする新たな企業支援策を紹介し、より多くの若者に選ばれる企業づくりへの積極的な挑戦をお願いしたところであります。

さらに、セミナー開催に併せて事業者向けのメールマガジンの配信サービスを開始し、現在90を超える皆さまに、初期メンバーとしてご賛同をいただいているところであります。

次に「第4期阿南市教育振興基本計画」に基づくキャリア教育の一環として、中学生が地元企業の魅力を知る機会を創出するため、先月28日、文化会館におきまして「地元企業PR事業」を実施いたしました。

当日は、市内23の企業等の皆さまにご協力をいただき、阿南中学校2年生124人の生徒が、各企業等のブースを巡りました。生徒たちは、世界に誇る技術力や地元で働くことの魅力などについて、熱心に説明を受けました。

今後におきましては、より実効性の高い取組となるよう改善を進め、早期の全校展開をめざしてまいります。

「こどもまんなか笑顔あふれる阿南」の創生

本市では「阿南市教育・保育施設整備実施計画」に基づき、こどもたちの安心・安全な保育環境の確保と質の高い教育・保育の提供に向け、公立幼稚園および保育所の集約を図るとともに、民間活力を活用した「認定こども園の整備」を進めております。

現在、阿南中学校区エリアにおきましては、昨年12月に民間事業者を決定し、令和10年4月の開園をめざして、富岡幼稚園隣接地において、認定こども園の整備を進めているところでございます。

また、阿南第一中学校区エリアにおきましても、令和11年4月の開園をめざして、本年7月から宝田・長生地区における認定こども園整備事業の実施に向けた公募型サウンディング調査を開始いたしました。

次に、GIGAスクール構想を推進するため、市内小中学校に配備した児童生徒向けのタブレット型情報端末は、現在導入から5年が経過

し、更新時期を迎えたことから、今年度中に「5104台」全ての更新を進めることとしております。

今回、購入するタブレット端末は、徳島県教育委員会を通じて共同調達を行うものであり、去る7月31日、一般競争入札において落札業者が決定し、仮契約を締結したところであります。

早期に全ての児童生徒に新しいタブレット端末が行き届くよう速やかに手続を進め、ICTを活用した教育環境のさらなる充実に努めてまいります。

次に、本年4月から市立小学校における学校給食費の無償化を実施しておりますが、食物アレルギーや不登校等の理由により、学校給食を食べることができない児童の保護者の皆さまにつきましては、この無償化の恩恵を直接受けられない状況にございます。

このため、子育て世帯への支援の公平性を確保する観点から、県の「保健体育振興事業補助金」を活用し、対象となる保護者等に対して「阿南市小学校給食費無償化に伴う非喫食者補助金」を交付することといたしました。

「健康びっぴに優つつ阿南」の創生

次に、医療的ケア児およびそのご家族への支援の一環として、来年4月から保育所等における受入開始を

予定しております。現在「保育所等における医療的ケア児受入に関するガイドライン」の策定を進めており、直ちに医師や保健師、保育士等の専門職で構成する「阿南市医療的ケア運営協議会（仮称）」を立ち上げ、本ガイドラインに基づき、今月から保護者からの利用相談の受付を開始し、保育の必要性やこどもの状況、利用を希望される施設等につきまして、丁寧にお伺いしてまいります。

また、医療的ケア児の在宅サービスといたしまして、訪問看護ステーション等の看護師が、ご家族に寄り添ったサポートを行い、ご家族の休息時間の確保や介護負担の軽減、きょうだい児と過ごす時間の創出を目的とする「医療的ケア児在宅レスパイト事業」につきましても、来月の開始に向けて、現在、準備を進めているところであります。

「歴史・文化とスポーツでにぎわう阿南」の創生

「第41回全国足利氏ゆかりの会総会」が、本年度は本市において、来る10月27日、28日の2日間にわたり開催されることが決定しております。

初日の27日は、文化会館におきまして、役員会および総会を執り行い、その後、元徳島城博物館館長 根津寿夫氏を講師に迎え「江戸時代の阿波公方 ―蜂須賀家との関わりを中心に―」と題してご講演をいただく予定であります。

「地域の個性ときぎずなが輝く阿南」の創生

また、翌28日には、室町幕府第14代將軍足利義栄をはじめとする足利家が祭られる菩提寺での追善法要があり、その後、市内の施設や物産展の見学などを予定しており、全国各地から参加する足利氏にゆかりある皆さまに、本市の豊かな歴史遺産や自然の魅力を存分にアピールし、阿南市の応援団をさらに増やしてまいります。

昨年度より開始した「わがまち予算交付金」は、地域住民の皆さまが主役となつてアイデアを出し合い、地域の課題解決や活性化に向けた活動を力強く後押しする取組であります。

今年度は、長らく地域活性化に活用されてきた「ふるさと活性21活動補助金」と制度を一本化し、市内の各種団体が実施する合計40事業を「個別団体分」として支援するとともに、地域の課題解決を担う「地域全域分」については、モデル事業を5地区へと拡大いたしました。

この5地区のモデル事業では、桑野・大野の両地区において「災害時活用井戸の敷設」、新野・宝田の両地区で夏祭りを安全に長く続けていくための備品整備等、加茂谷地区では、来年度に休校となる加茂谷中学校を舞台に、世代を超えた交流イベントの開催が予定されております。

このように、それぞれの地域の持つ個性が輝く多様な事業が、住民の皆さまにより展開されており、今後におきましても、市民の皆さまお一人お一人が主役となるまちづくりを力強く支援してまいります。

次に、野球のまち阿南の取組について、新たに2つの大会を開催いたします。まず「第1回西日本たいようホーム杯U-9 in あなん」は、今月19日から21日までの3日間、J A アグリあなんスタジアムおよび小勝緑地グラウンドにおいて、小学3年生以下を対象とした6人制の野球大会として初めて開催するもので、西日本各地から24チームの参加が予定されております。

次に「中学軟式野球プレ大会」は、来る11月21日から23日までの3日間、J A アグリあなんスタジアムを主会場として開催し、将来的な全国大会の本市開催を見据え、北海道をはじめとする県外から10チーム、県内から2チームの、合わせて12チームが参加する見込みとなっております。

全国から集う野球少年・少女たちをお迎えし、交流人口の拡大と阿南の魅力発信につなげてまいります。

全文は、市ホームページで公開しています。また、後日作成する市議会会議録は、市立図書館等で閲覧することが出来ます。